

志位さんに聞いてみよう ②

日本共産党の志位委員長に何でも聞いてみます。皆さんの疑問点や不明点をお寄せください。



質問に答える
志位委員長

Q どうして政党助成金もらわないの？ もらって福祉に回せばいいのに。共産党がもらわない分ほかの政党が山分けするなんておかしい。
では志位さんに聞いてみます。

A その理由は？

二つ理由があります。

一つは憲法違反だということ。国民の一人あたり250円の税金が使われています。支持していない政党に金を出すということは国民の思想信条を無視



した憲法違反の制度ということです。

二つ目は政党が墮落することです。やせがまんしてないでいいんですが、福祉に回すといっても、それでもらったしまえば自分で汗をかいて草の根で活動資金を集めようとしてなくなってしまうです。

国民の皆さんはそれでもな

沖縄県が辺野古米軍新基地建設の

埋め立て承認を撤回

沖縄県は8月31日、「辺野古に新基地は造らせない」との翁長知事の思いを受け止め、米軍新基地建設に伴う埋め立て承認を撤回しました。

理由は①承認時明らかになっていたなかった軟弱地盤・活断層の存在、②高さ基準を超える建築物、③設計変更の県との事前協議も、承認も受けず

お、カンパをしてくれるでしょうか。

根無し草の財政基盤を持たない政党は助成金の決まる12月、政党の理念を二の次にして離合集散を繰り返すようなことになります。

政党が国民と財政的な結びつきがなくなると税金にどっぷり浸かる薬物中毒者になっ

てしまいます。
こんな不健全な政党助成金制度は廃止させ、それを丸ごと福祉に回させようではありませんか。

に工事を強行している、などです。また、サンゴやジュゴンなどの環境保全上の支障が生じると厳しく指摘しています。

さらに沖縄県は9月20日辺野古の米軍新基地建設の賛否を問う、県民投票条例を県議会に提出しました。県民投票を求める署名が法定数（2万

部内資料

発効責任者 大田 勲 (62-5727)
議員連絡先 うすい孝彦 (62-5093)
服部 久子 (62-4357)
編集責任者 山本 久子 (61-1066)

202号

2018年9月

日本共産党
池田ファンクラブ・ニュース

あした天気にな～れ

「専門学校設置」を考える

来春開校予定の専門学校「北アルプス国際学院」が使う福祉会館、教育会館の施設修理事算（2000万円）及び県の所有物である安曇養護学校旧職員宿舎（滝沢）を学生寮として買い取る（3160万円）が9月町議会で賛成多数で可決されたと聞きました。

また、福祉会館、教育会館を時価よりも低い価格（※）で専門学校に20年間貸し出す議案も可決されたそうです。

※ 賃料（年額）

福祉会館…72万円＋修理費／
教育会館…54万円＋修理費／
貸与残り年数

なお、今回の修理費に教育会館1階の修理費は含まれておらず、学生寮のボイラー交換も数年後には必要と言われている。修理費は更に増える可能性はあると聞きました。

専門学校の福祉学科（介護福祉士や社会福祉士の養成）及び情報技術学科（情報処理



技術の習得）は来年4月の開校で、1学年40名定員の2年制としています。

また、日本語学科（外国人を中心に日本語を習得）は平成32年4月の開校としています。現在、学校側は法人設立と学校設置の認可を県に申請しており、11月頃には認可予定と聞いています。

町は留学生が増えれば地方交付税の増が見込まれるとし、企業誘致の観点から上記のような議案が出されまし

た。課題は次の二点かと思

ます。
① 開校から20年間（学校法人の認可期間は20年）にわたってベトナムなど外国人留学生が予定通り確保され、安定

的な学校経営ができることで、学校側から施設の賃料および修理費を回収できるようにすることです。そのために確実な賃貸契約を結んでもらうことが重要だと思っています。

② 昨年の12月5日のNHKのクローズアップ現代（追いつめられる留学生）で紹介されたように留学生が非行などを起こさぬよう町の安全を確保することです。そのために、留学生への言語、習慣へのサポートも重要です。また、留学生が生活費や次年度の学費支払いができるよう確実なアルバイト先を紹介することも必要です。

いずれにしても、学校側に留学生が生活相談できる体制を作っていたかどうかだと思います。更に、町民と留学生が気持ちよく暮らせるよう環境整備（施設の外国語看板置など）と融和イベントなどを企画・実行していくことではないでしょうか。

（専門学校設立を心配する一町民）

3千）を大きく上回る9万3千人に達したことを受けて、条例案としたものです。

県民投票の会代表は「県民がしっかりと判断材料を得て

議論し、意思を示すことに意義がある。民主主義社会と沖縄の未来にとって重要」と強調しています。

毎月スタンディングを行っています

米国が戦争を始めたときに、米軍を日本の武力で守る集団的自衛権の行使の容認を柱とした戦争法（安全保障関連法）の成立から、今年9月19日である3年になりました。戦争法に反対する町民の会」では、毎月19日近辺の日曜日に1丁目のツルヤ前でスタンディングを行っています。

9月16日は13名がプラカードやのぼり旗などをもって参加しました。車からの激励もあり、勇気づけられました。

今回は大北連絡会の取り組みで、10月3日（水）13時からツルヤ前で行います。



文芸欄

読者の皆さまからの投稿を掲載します。俳句、短歌、川柳、詩などお待ちしています。

俳句

○ 穠（い）が 栗の落とせば 弾みそうな青（幸代）

○ 暮色増し 集（すだ）く虫の音 衿合わす（かな子）

○ 夕空や 惜しむが如く 蜻蛉群れ（みち子）

ラム有明

“ランドセルが重い”最近になってようやく文科省が動きだしました。小学生に腰痛が出現していることがその理由のようです。確かに重いことは事実です。▼以前計ってみたことがあります。小学4年生のランドセルは5kgでした。現在、5年生は6kgに増えていました。そこに習い事の書物や図書が入ると7kg近くに。教科書が厚くなったことや、筆箱の中もマジック、のり、コンパス、はさみ、鉛筆は5本くらいが入ります。これだけの物を毎日背負いその上運動着などプラスされれば重いはずです。▼家で見ない教科書は学校に置いておくことは問題ないのではないかと思います。家へ帰ってくるなり玄関に重いランドセルをドサツと置くこともなくなることでしよう。インターネット調査では小学1年生で3.7kgの重さとのことです。特に長距離歩く児童にとって身体への負担はかなり大きいと思われます。池田町でも早目に対応を考えていただきたいと思います。

“ランドセル 5キロを背負う 夏日かな” 暑さのきつい夏でしたね。